

第159号

平成25年3月

# 日吉台の福祉

発行 日吉台学区社会福祉協議会

ホームページ <http://www.geocities.jp/hiyoshidainohukushi>

## —— 日吉台学区「人権・生涯学習」推進協議会の活動について ——

当学区における人権・生涯学習の推進組織として、自治会・PTA等の各種団体及び公民館・学校等の機関で組織し、地域ぐるみで自主的な活動を展開しています。

主な活動としては、「人権を考える大津市民のつどい 夏の集会・秋の集会」の開催や市主催の講座への参加。自主的な活動としては、住民を対象にした研修会や学習会を開催しています。また、日吉台学区社会福祉協議会（以下 学区社協と記述）と連携した福祉と人権の合同の研修会や視察研修等を実施しています。また、広報紙「ふれあい日吉台」を年間2回発行し、広報活動をしています。

本年度の特色ある活動としては、去る2月2日に、人権学習講座「日吉台幼稚園の今後と地域の未来を考える」を住民41名の参加のもと開催しました。

当学区の65歳以上の高齢者人口は35.0%で市内2位に位置し、日吉台幼稚園の今後5年後の入園予定者は5名を切りそうと予想しているなど、この学区はまさしく少子高齢化現象の象徴たる地域です。

このため今回の講座には当学区の将来に危機感を持たれた多くの子育て世代と年配者が参加されました。

大切な子育てを支援する幼稚園が無くならないようにするためにも当学区として、どうしていくのか？未来の地域をどうしていくのか？をファシリテーター笠井智美さんの指導のもと、5グループに分かれてのグループ討議で活発な意見が出て、日頃の公民館講座には見られないような若い世代のパパ、ママも集まり、とても良い議論の場となりました。

出席されていた岡井日吉台学区自治連合会長からも、今後、このメンバーで当学区の将来を考えるための「日吉台まちづくり協議会」を設立して、継続的な議論をしていきたいと期待を込めて皆さんに提案をされたところです。

当日出された意見やアンケートの集約等については、広報紙「ふれあい日吉台」に掲載をしますので、ご覧いただき、皆様お一人おひとりの問題としてご一考いただきたいと思います。



お茶をいただきながら  
和気あいあいと世代をこえて懇談

## “ふれあいサロン in 三丁目” 活動報告

◎2月18日（月）ふれあいサロン in 三丁目（三東集会所）24名参加

朝から冷たい雨の降る寒い日にもかかわらず、多くの皆様がお集まりくださいました。「日吉台に来た頃の話」をテーマにして、2つのグループに分かれ、回想法が始まりましたが、途中から「生きがい」等々に話題が変わっていくグループもあり、和気あいあいと楽しい一時を過ごすことができました。その後のティータイム(お茶の時間)には、全員で昭和のスターのカルタ(写真)を見ながら、名前当てクイズをして大いに盛り上がりました。外の寒さを忘れ、心温まる一日でした。皆様のご協力ありがとうございました。

日吉台学区社会福祉協議会では、《思い出語り…心元気♪♪》をモットーに昔の思い出を語り合うことで、脳の活性化を目指す「回想法」に比叡すこやか相談所、比叡あんしん長寿相談所のご指導のもと取り組んでおります。この回想法は、認知症の治療に効果的な心理療法だといわれています。これからも各丁の集会所での開催を計画しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 『明日は我が身』…日吉台学区防災講演会の報告と活動

2月17日、山中比叡平学区自主防災会会長の久保田 洋氏を講師にお迎えして、学区防災講演会を開催いたしました。久保田氏は地域に密着した建設的な活動を積み重ねて来られ、特に高齢化対策には学ぶべきところが多くありました。

現在、当学区は、大津市内でもトップを争う高齢化学区となっており、加えて高齢者の独居世帯も65世帯以上という現状から、自主防災会としてはこれらを踏まえた活動を構築していかなければならないと思っております。

日吉台学区自主防災会は設立9年目を迎え、また各自治会の地域自主防災会は発足して4年になります。毎年、年度当初には消火器や消火栓ホース格納庫の点検・消火栓のペンキ塗り等の地道な活動から、非常食等の備蓄・避難計画・防災訓練等、災害への備えや減災につながる活動に努めております。

しかし、住民同士の日々のふれあいや言葉の掛け合いが大切であることはもとより、助ける側の住民が少なければ、命は救えません。今後の日吉台の防災力向上のため、是非とも各自治会で設立された地域自主防災会へご参加いただき、皆さまのお力添えとご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。《学区自主防災会 会長 衛藤 彰男》



## 今年もお米のご支援をいただきました。

京都新聞社会福祉事業団より「高齢者のための事業」として実施しているふれあい給食にお米をいただきました。温かいご支援心より感謝申し上げます。

早速、おいしいお米を炊いて、お弁当に使わせていただき、独居老人の皆様にお届けして、大変喜んでいただきました。ありがとうございました。

《ふれあい給食事業実施委員会》



## ふれあい農園の活動報告

毎週日曜日の9時から12時まで、小学校の南側と西側の畑に会員が三々五々集まり季節の野菜等の栽培をしている他、食事会や新年会、お花見などで相互の親睦を図っています。

また、小学生とのふれあいとして、会員が手助けしながら各学年にそれぞれ大根、ジャガイモ、サツマイモ、玉葱など野菜の種まき、植え付けと収穫を体験学習してもらう他、授業の一環として2月には1年生と「昔のあそび」のコマ回し、はねつき、お手玉、竹とんぼ、けん玉などを一緒に楽しみました。

地域社会との交流では、10月の文化祭に参加し、模擬店での、主に農園で収穫した野菜や花などの販売を通じて、多くの人達とふれあうことが出来ました。



## 地域福祉懇談会の報告

24年度テーマ「助けられ上手の住みよい我が町日吉台」

2月21日（木）今年度4回目の地域福祉懇談会を、大津市社会福祉協議会副参事 山口浩次氏を講師に「こんな町になったらいいな、みんなで考えよう」のまとめの講座を開催しました。



はじめに最近の大津市の相談事例をお聞きし、地域の介護施設等事業所の活動報告の後、「我が町を住みやすい町にするためには」というテーマで皆様からご意見を伺いました。

「こんな町になったらいいな」では助け合いの出来る町、挨拶の出来る町、支え合える町、人と人の絆を大事にする町、老後も安心して住める町、など多くの意見が出されました。

「ではどうしたら良いのか」では人のつながりが大事でありまずは挨拶から始める、自治会活動に参加する、助けてと言える環境を、「ささえあいの会」の充実、いつでも自由参加できる福祉の集会所、空き屋対策として若い人に魅力ある町にする、それには幼稚園と保育園の一体化をなどが提案されました。

また、山口氏から、高齢化が益々進む日吉台において、何か困ったことが生じた時は、直ぐ「助けて」と言える、「助けられ上手」になることが、安心して生活出来るようになる旨のお話をいただきました。

学区社協では、今回提案いただいた皆様のご意見を、今後の検討課題にしていきたいと考えています。

日常生活にお困りの事がありましたら、現在支援活動をしています「ささえあいの会」にお気軽にお電話してください。ご相談の上、実施させていただきます。

ささえあいの会受付電話番号 080-1459-7026

## 「福祉事業賛助金」のお礼

「福祉事業賛助金」に前号以降でご協力いただいた方のご芳名をお礼を兼ねて紹介させていただきます。3月1日現在で、218人、346,000円のご厚志を頂戴しました。誠にありがとうございました。

日吉台二丁目 … 西川 松美 様

### 民生委員児童委員協議会よりお知らせ

\*\*\*あなたの町担当の民生委員児童委員と福祉委員\*\*\* (敬称略)

担当地区		民生委員児童委員		福祉委員	
自治会	番地	委員名	電話番号	委員名	電話番号
一丁目南	1~14	村田信子		西口三代子	
一丁目北	15~32	呉屋之保		岡崎一郎	
				岡崎俊子	
二丁目南	1~19	土屋和子			
二丁目北	20~29	土屋和子		藤田道夫	
	30~37	村田信子			
三丁目東	1~7	西村敏江		近藤由紀子	
	8~13	大岸光男			
	14~18	菊岡 隆			
三丁目西	19~34	菊岡 隆		仲田康子	
				海東千鶴子	
四丁目東	1~14	大岸光男		板谷忠雄	
				泉加代子	
四丁目西	15~28	西村敏江		岩本裕子	
				浅山鞠子	
				水谷京子	
主任児童委員	全 域	藤原利子			